2019
6
No. 680

國學院大學學報

国学院大学
令和元年６月20日㈭　定期号（毎月20日発行）１部20円
［発行］国学院大学　［編集］総合企画部広報課　〒150-8440 東京都渋谷区東四丁目　［電話］03（5466）0130　［FAX］03（5466）0528

「言問」

梅雨ふかき 竹屋の渡し―傘さして
舟よりあがる人の、よろしさ
（「倭をぐな」）

釈　迢空

祭　儀　■ **大祓（夏越の祓）**　6月29日（土）　午後４時　神殿前庭　■ **月次祭**　7月１日（月）　午前10時　神殿

日々学生の修学支援にあたる学修支援センターの教職員

特集 障がい学生支援

「自分らしい生き方」を全学で

国学院大学は今年度、建学の精神および「障がい学生支援に関する基本方針」のもと、「障がい学生支援に関するガイドライン」を施行した。

ガイドラインは、障害者差別解消法などに基づき、本学の全教職員が障がいを理由とする差別の解消を進め、障がいの有無にかかわらず等しい教育・研究環境の確保に努めることを目的とし、建設的な対話を通じて、障がいの個別的なニーズと本学の状況や教育の本質を調整しながら合理的配慮を提供する。

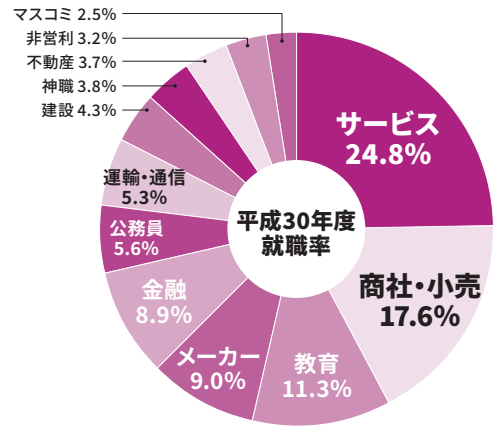
教育開発推進機構学修支援センターを中心に、障がい学生一人一人によって異なる困り事に寄り添いながら、学生本人との面談などを通じて合理的配慮に基づく支援の内容を検討している。例えば、聴覚障がいの学生には「ノートテイカー」と呼ばれる学生スタッフが授業中の音声情報をその場でパソコンを使いながら文字化、視覚化して伝えるノートテイク支援を、発達障がいの学生には学修支援センターの教職員が勉強のスケジュールを一緒に立てるなど幅広く学修の手助けを行っている。

【6、7面に関連記事】

今年3月卒業生 就職率96・6%

前年度から微増

平成31年３月卒の本学卒業生の就職率は、前年度より０・１ポイント上昇し96・６％と引き続き高い水準を維持した。売り手市場が続く中、本学独自に取り組む業界セミナーや内定者アドバイザーによる相談対応などキャリア支援が学生たちに浸透してきた効果がうかがえる。



藤形正俊学生事務部長は「中小企業の求人倍率は年々上昇しているが、大手企業は狭き門の状況が続いている。そうした中で本学の学生は、近年採用エントリー数は２倍、インターンシップのエントリー数は３倍に上昇し、大手・優良企業への就職者数や企業数も３割程度上昇している。学生には、低学年からインターンシップに参加するなど主体的に活動をすることで、業界の視野を広げてほしい」と話している。

この他、公務員・教員への就職状況はほぼ例年並み。公務員は国家・地方合わせて１１９人。高校、中学校、小学校、幼稚園、保育園、特別支援学校を合わせた教員就職者は２４７人となった。このうち、各自治体による教員採用試験に合格し、公立小、中、高の正規採用となった卒業生は１２９人だった。

神社関係では、１４３人の神職資格取得者のうち、99人が神社界（実家が奉仕する神社を含む）に進んだ。

みはるかすもの

〈六月を奇麗な風の吹くことよ〉正岡子規は、梅雨のジメジメと蒸し暑い季節に、一瞬爽やかに吹いた風を詠んだのだろうか▼新谷尚紀大学院客員教授の著書『日本人の春夏秋冬』（小学館）によれば、この時期の長雨を「梅雨」と書くのは、「青い梅の実が太りはじめる時期にあたっているから」だという。カビが生える時期で「黴雨」と書かれるとか。不快な長雨だが、空梅雨では水稲をはじめ植物の生育が心配になる▼雨を受けて太った梅の実は収穫、加工され、梅干しとして平安時代から重宝されてきた。正岡子規は〈梅干すや庭にしたたる紫蘇の汁〉と句を残している。情景を思い浮かべるだけで唾液が口の中に広がる▼６月は和菓子に関係する月でもある。京都では、ういろうに甘く煮た小豆を散らし、三角形に切った「水無月」を、夏越の祓を行う晦日に無病息災を祈って食べる習慣がある▼16日は、全国和菓子協会が昭和54年に制定した「和菓子の日」。平安時代の８４８年に仁明天皇が16の数に因んだ菓子や餅などを神前に供え、疫病を鎮め国民の健康を祈った「嘉祥（もしくは嘉定）菓子」の故事に由来する。吉例は江戸時代まで続き、民間にも、「嘉祥喰」として銭16文で菓子や餅16個を求め食べるしきたりが広がった。〈子のぶんを母いただくや嘉定喰〉（小林一茶）▼１年の折り返しの月を先人たちの食の知恵をいただき無病息災で過ごしたい。

主な内容　**2面**／彬子女王殿下と学生が田植え　**3面**／平成30年度 決算　**4面**／若木育成会 本部総会を開催
5面／令和元年度 院友大会　**6・7面**／特集・障がい学生支援 全学に広がる支援の輪 現状と展望　**8・9面**／インフォダイジェスト
最終面から K:DNA　**Ⅰ面**／陸上競技部・土方選手 ハーフマラソン優勝　**Ⅱ面**／K-SPIRITS ソフトテニス部・男子　**Ⅲ面**／硬式野球部・東都大学野球3位で終戦

KOKUGAKUIN UNIVERSITY 140th 1882–2022

彬子女王殿下と学生が田植え
新潟で実りの4年目
新潟コメ作りワークショップ

本学の学生がコメ作りを体験する「新潟コメ作りワークショップ」が5月26日、新潟市北区大月の水田で催され、本学特別招聘教授の彬子女王殿下とともに田植えを行った。

今年で4年目を迎えるワークショップは、彬子女王殿下が総裁を務められる団体「心游舎」が主催。日本文化を伝承する活動の一環として実施された。

本学の学生約30人は25日夕に新潟市に入り、農家の人たちから農業について講義を受けた後、地元の食材で作った夕食を食べた。翌26日朝には、野良着姿で水田に集合。泥の中に素足を突っ込み、炎天下で約2時間にわたって田植え作業に勤しんだ。

「日本史を学んでいるので、コメ作り体験は勉強になると思った」と参加のきっかけを話すのは、内藤柚希さん（史2）。作業を終え、「労力がかかることが分かった。年貢としてとられると大変だっただろう」と感想を述べた。

また、中村京さん（神文4）は「初めは水田の感覚に驚いたけど、田植えをするうちに楽しくなった。おコメを食べるときに感謝の気持ちを忘れないようにしたい」と笑顔で語った。

振り返り学習で、彬子女王殿下は「みなさん、いろんなことを感じていただいたのではないかと思います。自分の植えたおコメがどのように成長するか、草取りから稲刈りまでしっかり育ててほしい」と話し、学生たちの労をねぎらわれた。

学生たちが田植えをした水田の広さは1反半（約1500平方メートル）で、今後は6月に草取り、9月に稲刈りを行う。収穫されたコメの一部は、神社に奉納する予定だ。

10氏に名誉教授の称号授与

本学は、平成31年3月に退職した10人の元教授に、4月1日付で名誉教授の称号を贈ることとした。対象者は次の通り。

◆文学部＝大和博幸氏、久野マリ子氏◆法学部＝磯村早苗氏、高塩博氏、永森誠一氏◆経済学部＝秦信行氏◆神道文化学部＝岡田荘司氏◆人間開発学部＝上口孝文氏、大森俊夫氏、新富康央氏

授与式は、6月5日に渋谷キャンパスで行われ、針本正行学長から辞令が手渡された。針本学長は「137年の歴史がある中で、国学院大学は150数人の方に名誉教授の称号を授与しています。その時その時にお務めいただいた先生方の学恩、お導きによって大学は成り立っていると思っています」と挨拶した。

【法学部】
磯村早苗 氏

【文学部】
久野マリ子 氏

【文学部】
大和博幸 氏

【神道文化学部】
岡田荘司 氏

【経済学部】
秦信行 氏

【法学部】
永森誠一 氏

【法学部】
高塩博 氏

【人間開発学部】
新富康央 氏

【人間開発学部】
大森俊夫 氏

【人間開発学部】
上口孝文 氏

松尾元理事長 没後30年
佐柳理事長らが展墓

本法人の理事長を務めた松尾三郎元理事長の没後30年を迎え、命日の5月30日、佐柳正三理事長、大村秀司常務理事、坂口吉一常任顧問が圓融寺（東京都目黒区）の墓所に展墓を行った。

松尾元理事長は、大正12年本学高等師範部卒業。教職を経て昭和16年から本学に勤務。45年4月から58年4月まで理事長として本法人の経営に尽力した。

成績優秀者奨学生表彰
60人を表彰

国学院大学は、令和元年度の成績優秀者奨学生60人を発表した。同制度は、前年度特に優れた学業成績を修めた者を表彰し、さらにその能力を伸ばし勉学を奨励する制度で、2年生以上の学生が対象。

文学部、経済学部、法学部、神道文化学部学生の表彰式は6月6日、渋谷キャンパスで行われた。人間開発学部は12日、たまプラーザキャンパスで。

針本正行学長は「本年度も、来年度以降も、健康に留意して特に優れた学術業績を上げられることをお願いしたい」と挨拶。その後、各学部長から表彰状が授与された。奨学生を代表し、2年連続の表彰となった栗林茜さん（中文4）と3年連続表彰の金谷美里さん（法4）が「（奨学金は）将来の自分にプラスになるように役立てたい」「奨学金は学業の大きな励みだった。奨学生として恥じぬように頑張りたい」とそれぞれ決意を述べた。

「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」表彰

教育開発推進機構では、「学生による授業評価アンケート」に基づく顕彰制度「ベスト・ティーチング賞」を実施している。昨年度は、授業評価アンケートの「到達目標の達成度」を基準として、専任教員6人と兼任講師3人が受賞した。表彰式は5月16日に行われた。受賞者は次の通り。

◎**専任教員**▶文学部▷高山実佐教授、矢部健太郎教授▶法学部▷四宮啓教授▶経済学部▷東海林孝一准教授▶神道文化学部▷齊藤智朗教授▶人間開発学部▷大森俊夫教授（当時）

◎**兼任講師**▷久保哲也氏、田邊一馬氏、内藤裕子氏

屋内喫煙所　閉鎖に

国学院大学は、6月30日までにキャンパス内に設けられている屋内喫煙所をすべて閉鎖することを決めた。受動喫煙防止に関する改正健康増進法が7月1日に一部施行され、さらに9月1日に東京都受動喫煙防止条例も一部施行されることで、大学の建物内は全面禁煙とすることが義務付けられることによるもの。

例外として、屋外で受動喫煙を防止するために必要な措置を講じた場所に喫煙場所を設けることができることから、渋谷、たまプラーザの両キャンパスに、屋外の喫煙場所を設ける予定。

平成30年度 決算

平成30年度学校法人国学院大学決算は、監事および監査法人の監査を経て、5月30日に開催された理事会で承認、同日開催の評議員会に報告、了承されました。

本決算はさまざまな厳しい外部要因がある中、中長期計画である「21世紀研究教育計画（第4次）」に則り事業を遂行した上で、概ね堅調な決算となりました。法人全体としての基本金組入前当年度収支差額は、17億8100万円の収入超過となりました。

また、事業の重要度や優先順位を検証し、各事業が円滑に遂行できるよう財源配分を行う一方で、持続可能な経営環境を維持すべく、基本金をはじめとする財務基盤の安定的な構築を計画通り実施しました。

その結果、貸借対照表における資産規模としても、総資産が1260億円を超え、そこに占める各種特定資産も堅調に積み増すことにより安定した財務基盤となる決算となっています。

詳細についてはホームページをご覧ください。

（財務部経理課）

資金収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

（単位:百万円）

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	13,601	13,653	△52	人件費支出	9,927	9,923	4
手数料収入	643	774	△131	教育研究経費支出	3,782	3,613	169
寄付金収入	465	457	8	管理経費支出	1,262	1,195	67
補助金収入	2,074	2,198	△124	借入金等利息支出	13	12	1
資産売却収入	0	0	0	借入金等返済支出	730	730	0
付随事業･収益事業収入	174	193	△19	施設関係支出	3,152	2,748	404
受取利息･配当金収入	143	181	△38	設備関係支出	683	539	144
雑収入	639	759	△120	資産運用支出	6,098	6,093	5
借入金等収入	1,606	1,605	1	その他の支出	463	597	△134
前受金収入	2,409	2,500	△91	予備費	499		499
その他の収入	4,278	4,621	△343	資金支出調整勘定	△237	△355	118
資金収入調整勘定	△2,804	△3,137	333	当年度支出合計	26,371	25,093	1,278
当年度収入合計	23,228	23,805	△577	翌年度繰越支払資金	7,598	9,453	△1,855
前年度繰越支払資金	10,741	10,741					
収入の部合計	33,969	34,546	△577	支出の部合計	33,969	34,546	△577

事業活動収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

（単位：百万円）

		科目	予算	決算	差異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	13,601	13,653	△52
		手数料	643	774	△131
		寄付金	163	150	13
		経常費等補助金	2,054	2,197	△143
		付随事業収入	174	193	△19
		雑収入	639	775	△136
		教育活動収入計	17,274	17,742	△468
	事業活動支出の部	人件費	9,771	9,788	△17
		教育研究経費	5,379	5,222	157
		管理経費	1,397	1,332	65
		教育活動支出計	16,547	16,342	205
教育活動収支差額			728	1,400	△672
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	143	210	△67
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	143	210	△67
	事業活動支出の部	借入金等利息	13	12	1
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	13	12	1
教育活動外収支差額			130	198	△68
経常収支差額			858	1,598	△740
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	338	327	11
		特別収入計	338	327	11
	事業活動支出の部	資産処分差額	124	144	△20
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	124	144	△20
特別収支差額			214	183	31
［予備費］			499		499
基本金組入前当年度収支差額			573	1,781	△1,208
基本金組入額合計			△4,646	△3,923	△723
当年度収支差額			△4,073	△2,141	△1,932
前年度繰越収支差額			△1,488	△1,488	0
基本金取崩額			0	0	0
翌年度繰越収支差額			△5,561	△3,629	△1,932
（参考）					
事業活動収入計			17,755	18,279	△524
事業活動支出計			17,183	16,498	685

貸借対照表

平成31年3月31日現在

（単位：百万円）

資産の部				負債及び純資産の部			
科　目	本年度末	前年度末	増減	科　目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	115,896	112,477	3,419	負債総額	13,792	13,192	600
有形固定資産	63,363	61,947	1,416	基本金総額	115,864	111,941	3,923
特定資産	49,681	47,680	2,001	第１号基本金	98,205	96,082	2,123
その他の固定資産	2,852	2,849	3	第２号基本金	1,900	2,100	△200
流動資産	10,131	11,168	△1,037	第３号基本金	14,707	12,707	2,000
				第４号基本金	1,051	1,051	0
				繰越収支差額	△3,629	△1,488	△2,141
				純資産の部合計	112,235	110,453	1,782
資産の部合計	126,027	123,645	2,382	負債及び純資産の部合計	126,027	123,645	2,382

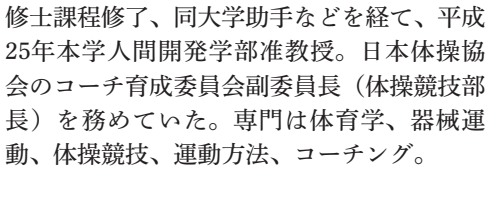
オープンキャンパス 初めて事前申し込み制に

高校生を対象としたオープンキャンパスが6月2日、渋谷・たまプラーザ両キャンパスで開催された。今年度オープンキャンパスは、本学では初めて事前申し込み制となり、1800人余りの高校生や父母が来場した。

イベント受付では、開場前から集まった多くの参加者が、スマートフォンなどに表示させた申し込みの情報をスタッフに提示し、入場する姿が見られた。渋谷キャンパスでは、大学説明会と一般入試説明会の参加も事前申し込み制に。会場では多くの来場者が熱心に耳を傾けた。

今年度のオープンキャンパスは8月3日、4日､24日の開催が予定されている｡時間はいずれも午前10時から午後4時まで｡事前にインターネットから申し込みが必要となる。

高校教員対象説明会 次年度の入試概要を解説



高校教員を対象とした入試説明会が5月31日、渋谷キャンパス常磐松ホールで行われ、約180校から進路指導担当者らが参加した。

針本正行学長は、本学を取り巻く入試環境などを説明したうえで、「大学の社会環境、入学試験環境は厳しく、入学定員の厳格化も求められています。受験生や進路指導の先生方の懸念と不安を少しでも晴らす機会になればと思います」と挨拶した。

続いて､平成31年度入試の実績と令和2年度入試制度についての説明などが行われた。

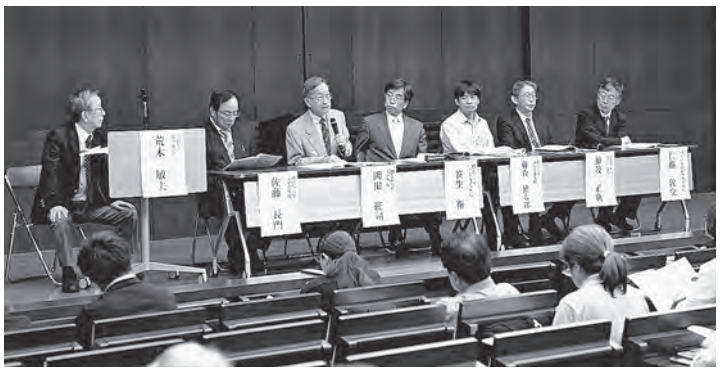
2年度入学者から、経済ネットワーキング学科の募集を停止し2学科8コース体制に移行する経済学部の橋元秀一学部長は「多様な価値観を持ち、多元的な社会の中でこれからの時代を担う学生は何を学ぶのか。経済学や経営学の基礎理論に基づいて、具体的な応用と実践を自ら考え創造していく地力をつけなくてはいけないと考えている」と改組の意義を説明した。

笹田人間開発学部准教授 逝去

笹田弥生・人間開発学部准教授が5月28日に逝去。56歳。通夜は6月3日午後6時から、告別式は4日午前11時から代々幡斎場（渋谷区）で執り行われた。喪主は夫の茂和氏。

笹田氏は、昭和38年生まれ。体操選手として、54年からNHK杯を4連覇。日本がボイコットした55（1980）年のモスクワ五輪日本代表にも選ばれた。60年日本体育大学体育学科卒業、62年同大学院体育学研究科修士課程修了、同大学助手などを経て、平成25年本学人間開発学部准教授。日本体操協会のコーチ育成委員会副委員長（体操競技部長）を務めていた。専門は体育学、器械運動、体操競技、運動方法、コーチング。

「日本古代の皇位継承」 神道学、考古学、史学から迫る 文化講演会



総合討論の様子

「日本古代の皇位継承―即位・践祚（せんそ）・譲位・大嘗祭―」と題した国学院大学文化講演会が6月8日、渋谷キャンパス常磐松ホールで開催された。針本正行学長が「国史学と神道学は本学にとってかけがえのない学術分野。今回の講演会は本学の建学精神の具現化といえる」と挨拶した後、学内外の研究者7人が講演した。

一番手で登壇した本学の岡田荘司名誉教授は「大嘗祭の史的意義」と題し、壬申の乱（672年）以降に確立された大嘗祭の儀礼を解説。「大嘗祭の祭神は天照大神であり、（新たに即位した天皇が）コメやアワ、海産物などからなる神饌を供え、ともにいただくことに意義がある」と述べた。

続いて神道文化学部の笹生衛教授が「考古学からみた大嘗祭」と題して講演。「祭儀は宮垣で遮断された大嘗宮で行われるが、それは8世紀前半の元正天皇、聖武天皇の時代まで遡（さかのぼ）ることができる。祭祀の原形は、古墳に並べられた埴輪（はにわ）群で確認できる」と紹介した。

文学部の青木敬准教授は、平城宮で発掘された6例の大嘗宮について報告したほか、藤森健太郎群馬大学教授、加茂正典皇学館大学教授、佐藤長門文学部教授、仁藤敦史国立歴史民俗博物館教授が即位儀礼や践祚、譲位について報告を行った。

前列右から堀江久教新会長と、今村充伸副会長、増田久美子副会長
後列は加藤圭子前会長

若木育成会 本部総会を開催

新会長に堀江副会長を選任

在学生の保護者などで組織される国学院大学若木育成会の全国支部長懇談会と本部総会が5月18日、渋谷キャンパスで開催された。

加藤圭子会長が本部総会で、「自分の子どもたちが大学の4年間を充実してどう過ごせるか、心にゆとりをもって意義のある大学生活の手助けができるのかを皆さまと考えていければ」、針本正行学長が「保護者の皆さまと大学教職員が一体となって『若木』という未来ある学生諸君を支援したい」とそれぞれ挨拶した。議事では、前年度事業報告および決算報告のほか、8月にかけて全国56会場で「支部の集い」を行うなどとした今年度の事業計画についての審議を行った。

役員選出では、会長を2年間務めた加藤氏が退任し、堀江久教副会長が新会長に就くことが承認された。続いて副会長に今村充伸氏（再任）と増田久美子氏（新任）、会計監査に3氏を選出することを承認した。

表彰では、会長を退任した加藤氏に大学から、3年連続で支部長を務めた3氏には若木育成会から、長年の活動への尽力をたたえる感謝状が贈呈された。

午後6時からは、場所をグランドプリンスホテル高輪（東京都港区）に移して、若木育成会本部総会懇親会が開催された。

平成30年度若木チャレンジ賞

1人・4団体が受賞

国学院大学若木育成会が、学業、スポーツ、社会貢献などで成果を挙げた個人・団体を顕彰する平成30年度「若木チャレンジ賞」の表彰式が5月18日、グランドプリンスホテル高輪で開かれた同会本部総会懇親会の席で行われ、それぞれに表彰状と賞金が贈られた。

若木チャレンジ賞は部会、同好会、サークル活動などでベストを尽くし、立派な成績や結果を挙げ、地道な活動ながらも在学生に誇れる「国学院魂」を示した個人や団体、あるいはボランティア活動など社会に誇れる活動をし、本学の名を高めた個人や団体を表彰し、顕彰するもの。受賞者・団体と受賞内容は次の通り。

《個人の部》（学年は応募当時・敬称略）

◆北條百合香（史3）「第16回全日本学生落語選手権　策伝大賞敢闘賞受賞」

《団体の部》

◆経済学部　田原裕子ゼミナール3年生「渋谷区まちづくりマスタープラン作成のための共同プロジェクト」

◆特別支援ボランティアサークルSNET（スネット）「SNET結成から1年間の軌跡」

◆ドリル競技部SEALS「ドリル競技部SEALSの活動と成果（長年にわたる学内外での活躍に対して）」

◆フラメンコクラブRojos Pimientos「フラメンコを通した社会貢献活動」

辰巳名誉教授 万葉集の世界を語る

国学院大学博物館で6月23日まで開催中の企画展「和歌万華鏡―万葉集から折口信夫まで―」に関連した講演会が5月11日、上代文学が専門の辰巳正明名誉教授を講師に迎え、渋谷キャンパス常磐松ホールで行われた。

「折口信夫から万葉集へ―漂泊の詩人の魂」と題して講演した辰巳名誉教授は冒頭、万葉集が典拠となった新元号「令和」に触れ「万葉集を考える私たちにとって重要なこと。万葉集を見直す機会になったと思う」と語った。

続いて、折口信夫を出発点に、東アジアの視点から万葉集や恋歌の世界をひもといた。1時間にわたる講演を「なぜ人は歌うのか。それは、生きていく上の全てだから。歌は、心を満たし希望を満たしてきた。その原点は万葉集であった」と語って締めくくった。

若木育成会 支部の集い 各地でスタート

若木育成会の支部の集いが5月25日から始まった。同イベントには本学教職員が出席し、大学の現況や教務、就職、学生生活関係について説明するほか、成績や就職などに関する個別相談にも応じている。

6月2日には、渋谷キャンパスで東京都第1～4支部の集いが開催され、保護者らが参加した。冒頭に堀江久教会長と針本正行本学学長が挨拶。大学の近況などを報告したほか、担当職員から成績、就職、学生関係についての説明を行った。2年生以上の学生の父母を対象に個別相談の場が設けられた。また、今年度からの新たな試みとして1年生の保護者を対象にしたキャンパス見学会や親睦会が開催された。

たまプラーザ宇宙の学校 10年目がスタート

今年で10年目の開校となる人間開発学部の「たまプラーザ宇宙の学校」が5月26日に始まった。

最初の講座では開校式が行われ、柴﨑和夫校長（初等教育学科教授）が「宇宙の学校とは」をテーマにミニ講演を行った。

柴﨑校長の解説を受けたのち、学生スタッフや保護者の手を借りながらビニール袋を使った熱気球作りに挑戦。家庭用ドライヤーで熱風を送って膨らんだ気球を空中に打ち上げていた。

この取り組みは、子どもたちの論理的・科学的思考能力を育成する理数教育、特に自然科学分野の教育の充実を図る一環として、宇宙航空研究開発機構（ＪＡＸＡ）宇宙教育センターの協力を得て、毎年開催しているもの。今年は、小学1、2年生親子を対象に募集した。

経済学部 在学生が学部の学びをアピール

高校生に経済学部生の生活や授業を体験してもらう「E-Tour」が6月8日、渋谷キャンパスで行われた。経済学部主催の同イベントは昨年に続き2度目。この日は約50人の高校生が参加した。ファシリテーター&アドバイザー（ＦＡ）の在学生らが主体となって、学部・学科紹介を行い、令和2年度からスタートする2学科体制となる同学部について説明した。それぞれおすすめの授業など学生ならではの視点でアピールした。

また、来場した高校生は、同学部の学修の特色の一つであるアクティブ・ラーニング型の模擬授業を受け、経済学部生の一日を体験した。

このイベントは、9月28日と来年1月11日にも開催予定（事前申し込み制）。

院友会 支部長会議を開催
岡田名誉教授の講演も

院友会支部長会議が５月25日、渋谷キャンパスで行われ、同会役員、全国各地の支部長らが出席した。今井亮副会長は「院友の力を一つにして母校の後押しができるよう努力を重ねていきたい」と吉田茂穂会長の挨拶を代読した。続いて、佐柳正三理事長、針本正行学長が祝辞を述べ、卒業生からの物心両面にわたる支援に感謝の意を表した。

会議では毎年恒例となったホームカミングデーの開催などについて院友会から報告されたのち、大学からの報告として入試や就職状況が説明された。

会議後には、岡田荘司名誉教授による「大嘗祭について」と題した講演が行われ、今年11月14日に行われる大嘗祭について、歴史的意義を語った**＝写真**。

全国院友高等学校長会
新会長に加藤・足立西高校長

全国院友高等学校長会総会が５月22日、渋谷キャンパスで行われ、院友の高等学校長のほか針本正行学長らが出席した。五十嵐一郎会長（前多摩大学付属聖ケ丘高校長、昭46卒・79期文）の挨拶の後、針本学長は「大学としてどのように教員養成を行い、どのように教職希望者を支援していくかを考えていきたい」と述べた。

総会では、教職を希望する学生への全面支援を行うことが決定したほか、総会をもって退任する五十嵐会長の後任に東京都立足立西高等学校の加藤泰弘校長（平３卒・99期文）**＝写真＝**が推挙され、満場一致で承認された。

総会終了後、教職希望在学生との懇談会が開かれ、在学生らは情報交換を積極的に行っていた。

院友経済会から寄付金目録
贈呈

経済学部・旧政経学部の卒業生によって組織される院友経済会から、学生、生徒らの活動支援（大規模災害被災者学生への支援）を目的として本学に寄付が贈られ、贈呈式が５月25日、渋谷キャンパスで行われた。

式には、同会の大塚勤会長（昭41卒・74期政経）、針本正行学長らが出席。大塚会長から針本学長に目録が贈呈された**＝写真**。

参加者全員で校歌を斉唱

令和元年度 院友大会
吉田会長「院友団結して後輩の後押しを」

一般財団法人国学院大学院友会による今年度の院友大会が５月25日、渋谷キャンパス１３０周年記念５号館「アリーナ」で開かれ、４００人近い院友が参加した。

冒頭、院友会の吉田茂穂会長は「院友は互いの団結をもって母校の隆昌発展と後輩たちの活躍を後押ししていかなければならない。オール国学院の気持ちで令和の時代の扉を開きたいと思います。大いにこれからの母校・国学院大学のことを語り合っていただきたい」と挨拶。続いて、４月に就任した佐柳正三理事長は、令和４年度に本法人が創立１４０周年を迎えることに触れ、記念事業を計画していることなどを紹介した。同じく４月に就任した針本正行学長は「未来の国学院大学の姿について、院友の皆さまとともに語り合うことができれば幸いです」と挨拶した。

会場では、卒業して間もない新院友と先輩院友が世代を超え、積極的に名刺交換をするなど活発に交流する姿が多く見られた。

院友会長賞の表彰では、今年１月の箱根駅伝で過去最高の総合７位の成績を上げるなど活躍した陸上競技部長距離ブロックに吉田会長から表彰状などが贈られた。恒例の「我が家は３世代国大生」の発表では、６組が表彰され、記念品が贈呈された。

会の終盤、今年３月に行われた全国大会で優勝したドリル競技部ＳＥＡＬＳが華やかにチアダンスを披露。会は盛況のうちに幕を閉じた。

学問ノ道 第17回

◉独自の研究を生み出した歴代教授陣

国学院の考古学

鳥居龍藏と上代文化研究会

国学院における考古学の歩みは、明治43年に東京帝大の坪井正五郎が「人類学」を講じたことにはじまる。これに続いて、帝室博物館の高橋健自による「考古学」や、東京帝大の松村瞭による「人類学」が開講された。

本学独自の考古学研究が幕を開けたのは、アジアを股にかけた人類学者の鳥居龍藏［１８７０―１９５３］が教授に就任した大正11年のことである。中学生の頃から鳥居に私淑していた大場磐雄［１８９９―１９７５］は、海外の民族学に通じていた折口信夫や、内務省神社局考証課長であった宮地直一からも多くを学び、国学院ならではの「神道考古学」を提唱した。また、後に名物教授として知られることになる樋口清之［１９０９―１９９７］は、学部在籍時の昭和３年に考古学標本室を設置。奈良県の畝傍中学校に在学していた当時から収集してきた約３０００点の考古資料が、国学院大学博物館の淵源となる。ちなみに、鳥居を会長として大正14年に生まれた上代文化研究会（後の考古学会）は、学生が運営の主体を担ってきた学会であり、そこから多くの院友考古学者が巣立っていった。なお、昭和８年に鳥居が離任した後は、元帝室博物館鑑査官であった後藤守一［１８８８―１９６０］が、16年から終戦頃まで本学教授の職にあった。

戦後の専任教授は、大場・樋口両教授のほか、九州の弥生・古墳時代研究を関東へもたらした乙益重隆、中部・関東の先史時代研究に取り組んだ永峯光一、縄文文化研究の泰斗である小林達雄が続き、奈良国立文化財研究所より吉田恵二を招いて歴史考古学や中国考古学まで研究の幅を広げている。加えて、先史考古学に重きをなした筑波大学の加藤晋平や、東京大学の藤本強も専任教授に招聘した。さらに、大場の学統を承けた椙山林繼は、比較宗教考古学としての「祭祀考古学」を主唱する。また、本学では、樋口清之が博物館学、丸茂武重が歴史地理学、佐野大和が図書館学を担当するなど、考古学を出自とする教授陣が隣接諸分野で活躍したことも特筆しておきたい。

研究開発推進機構准教授　深澤太郎

い学生支援

る支援の輪

と展望

センター

長、佐藤助教に聞く

ージ内「国学院大学メディア」に掲載。

国学院大学で今年度、スタートした「障がい学生支援に関するガイドライン」（以下、ガイドライン）。修学を目指す障がい学生を全学的な連携でサポートする仕組みを明文化したものだ。支援体制の中心を担う教育開発推進機構学修支援センター（以下、センター）の東海林孝一センター長と佐藤紀子助教に、本学が取り組む支援の現状と展望について聞いた。

――ガイドライン施行の背景は

東海林センター長（以下、東海林）　本学では以前から、障がい学生にも「入学してよかった」と思ってもらえる環境づくりに各部署で取り組んできました。センターも10年前の発足以来、いろいろな学生と関わり、彼らから学びながら支援のノウハウを蓄積してきました。ガイドラインという形での明文化は、国連の障害者の権利条約に始まる一連の動向に沿いつつ、これまでの取り組みを全学で包括的に再認識し、一致して対応していくためです。

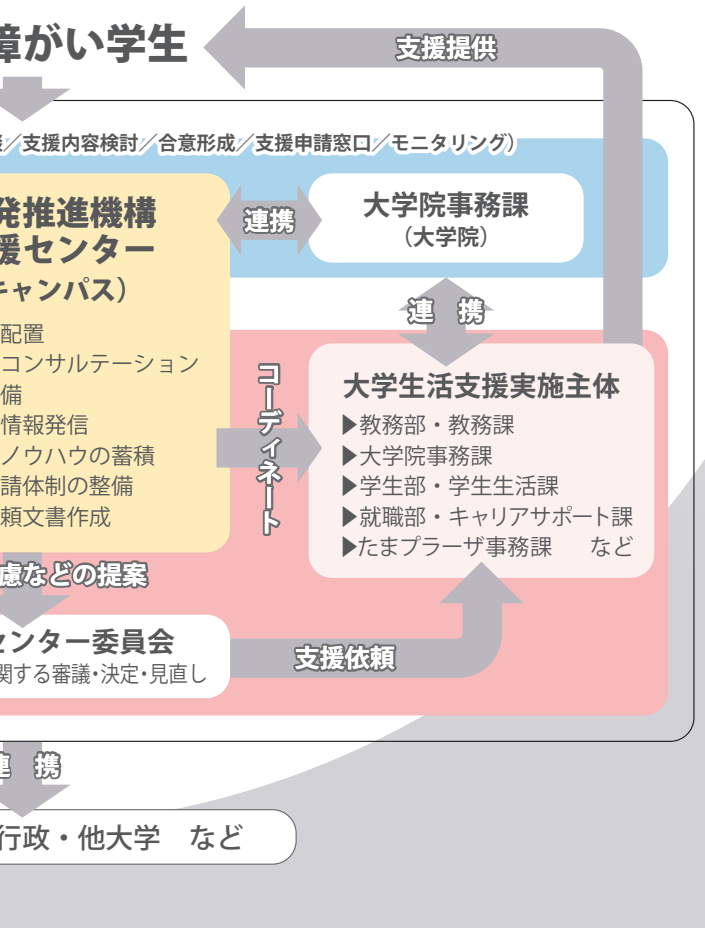
佐藤助教（以下、佐藤）　本学のさまざまな部署が連携して学生支援にあたる中、センターは学修面での支援を担っています。障がい学生支援においては、学修面でのサポートは学びを支える要です。ガイドラインの施行を機会に、センターが主軸となり、学部（渋谷、たまプラーザの両キャンパス）、大学院（渋谷キャンパス）の各窓口を明確にすることで、学生がよりスムーズに支援にアクセスできる体制を整えました。

――支援の進め方は

東海林　学生によって障壁もニーズも異なるため、学生一人一人と面談しながら最適の支援策を考えていきます。いわば、オーダーメードの支援です。

一方、生きづらさを抱えながらもSOSを出さない、出せない学生がいます。本学では、前・後期それぞれ開始5週間で授業の出席率が50％未満の学生に対し、出席不振の意識づけとセンターの利用を促すためのメールを配信しています。これをきっかけに相談に訪れ、支援につながる学生も少なくありません。また、入学前からも面談の機会を設けており、入学後すぐに支援を始められるケースもあります。

佐藤　支援は本人が希望し、申し出ることから始まります。ただし、支援を求めるという発想そのものがない学生、意思表明が苦手な学生、大学生活の障壁をまだ把握しきれない学生がいることも考



障がいの有無にかかわらず等しく必要な支援を

学修支援センター　鈴木崇義准教授

学修支援センターのスタッフとして、日々、さまざまな学生の学修相談に応じていますが、障がいの有無によって、私たちのサポート内容が大きく変わるわけではありません。

発達障がいの学生で計画を立てて勉強を進めることが苦手な場合、リポートの提出期限や試験の準備などの予定作りを手助けすることがあります。具体的には、勉強のスケジュールを図式化したメモを本人と一緒に作成し、定期的な面談で進行を確認します。こうした支援は、大学の勉強に慣れていない学生にとっては等しく必要なことだと思います。

教員に対して学生の支援に関する協力を個別に依頼することもあります。例えば、聴覚や視覚から入る情報をその場で処理することが苦手な学生の場合、録音や板書撮影の許可を相談するようなケースが挙げられます。

この他、聴覚障がいの学生に対するノートテイク支援では、支援者の学生が2人1組となり、その場でパソコンを使って音声情報を要約筆記して伝えます。ノートテイカーが組織化されてから、今年度で8年目となりますが、代々の先輩たちから継承した知識や技術、支援に対する考え方を基に学生が主体となって活動しています。今後は、聴覚だけでなく、より広く障がい学生の支援に活用することも視野に入れ、この支援の輪を広げ、後輩学生に受け継ぐ仕組みを充実させたいと考えています。（談）

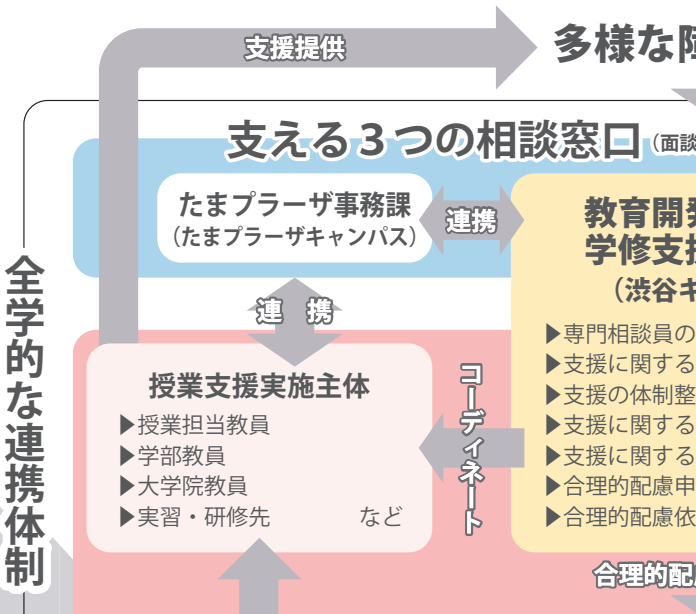
特集　障が

全学に広が

現状と

学修支援
東海林センター長

インタビューの詳細は、本学ホームペー



えねばならず、ここが課題となっています。

――学内に変化は

佐藤　担当の授業で支援策を提案してくださる教員が増えたと感じます。中には、どの学生にとっても役立つユニバーサルデザインの提案もあり、授業の質を向上させることにつながると期待しています。

東海林　聴覚障がいの学生には、ノートテイカーと呼ばれる学生が隣に座り、授業内容や状況をパソコンで文字化、視覚化する情報保障の支援を行っています。このノートテイカーを務める学生たちからは「私たちがテイクしやすい先生の授業は、誰にとっても分かりやすい」という話がよく出ます。教員が障がい学生の学修上の障壁を取り除く努力をすることは、ファカルティ・ディベロップメント（大学教員の能力開発）にも効果を発揮するのではないでしょうか。

――支援の将来像は

東海林　支援が必要だと思われるものの、支援につながりにくい学生もいます。「センターに相談すれば、授業に参加しやすくなる」と実感してもらえるよう情報発信に努めるとともに、学内の理解を広めていきたいです。

佐藤　高等教育機関の学生支援には「社会への接続」という役割があり、キャリア・自立支援とも連動します。本学は「主体性を持ち、自立した『大人』の育成」を教育目標に掲げています。障がいの有無にかかわらず、全ての学生が、相互に理解と尊重を深めつつ、悩みながらも自分らしい生き方を見つけていけるよう全学で支援していきたいと考えています。

【障がい学生支援に関する相談窓口】

渋谷キャンパス
▽学部＝教育開発推進機構事務課（☎03・5466・6744）
▽大学院＝大学院事務課（☎03・5466・0142）

たまプラーザキャンパス
▽たまプラーザ事務課（☎045・904・7700）

国学院大学のノートテイク支援

国学院大学のノートテイク支援は平成24年度から運用され、学内公募で現在は約20人の学生スタッフがノートテイカーとして活動している。授業中は聴覚障がいのある学生の両隣に2人1組で座り、15分ごとに交代しながら、教員の話などの音声情報をその場でパソコン画面に文字化して伝える。タイピングをしていない間も、もう1人のノートテイクのみでは伝えきれない情報を紙に書いて補足。支援は授業のほか、就職ガイダンスなどにも提供される。ノートテイカーは、年8回実施する研修会で、外部講師の指導により聴覚障がいやノートテイクに関する基礎知識を習得した上で実践技術を磨くほか、年2回の報告会で話し合いながら、スキルの向上や支援の改善を進めている。

ノートテイク支援を受ける学生、支援する学生

「テイカーに感謝」　清水光さん（日文4）

入学直後、同じ新入生が集うガイダンスで、自分の聴覚障がいについて説明する機会を設けていただきました。自分のことを事前に知ってもらうことで、学生生活がスムーズに送れたという先輩の事例を聞いたからです。ろう学校時代は手話で授業を受けていました。大学の授業は専門用語が多いので、その場で視覚化してくれるノートテイクは助かります。私にとってはノートテイクの内容が情報の全てです。（ノート）テイカーの皆さんには感謝しています。

「言い回しを短く」　角川はるかさん（法4）

清水さんと同じ手話サークルに所属しています。テイカーをしている先輩から活動の話を聞き、力になりたいと考えテイカーに応募しました。授業では要点を伝えるため、言い回しを短くします。聞き落とさないよう特に気をつけているのは、リポートの提出期限や教材のページに関する数字と専門用語。技術を磨くため、自宅での練習も欠かせません。

「雑談も伝える」　池田智子さん（日文4）

同じクラスで同じ手話サークルの清水さんを友人として助けたいと思いテイカーになりました。授業では雑談の内容も伝えるように心がけています。他の学生と同じように授業の雰囲気を感じてほしいからです。文字変換で正しい漢字が出ないときなどもありますが、もう1人が補ってくれるので、ペアで行えることが頼りになっています。

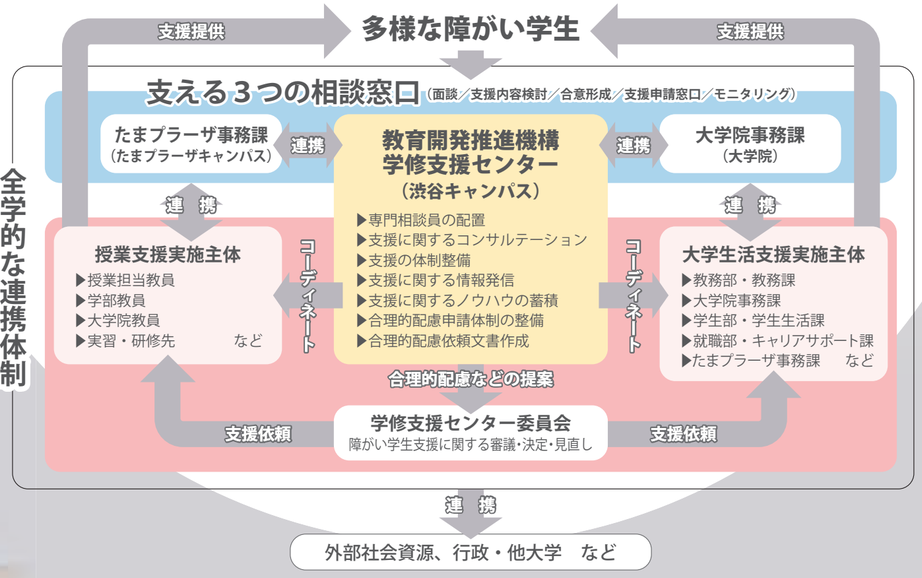
特集　障がい学生支援

全学に広がる支援の輪

現状と展望

学修支援センター 東海林センター長、佐藤助教に聞く

インタビューの詳細は、本学ホームページ内「国学院大学メディア」に掲載。



佐藤助教

――ガイドライン施行の背景は

東海林センター長（以下、東海林）　本学では以前から、障がい学生にも「入学してよかった」と思ってもらえる環境づくりに各部署で取り組んできました。センターも10年前の発足以来、いろいろな学生と関わり、彼らから学びながら支援のノウハウを蓄積してきました。ガイドラインという形での明文化は、国連の障害者の権利条約に始まる一連の動向に沿いつつ、これまでの取り組みを全学で包括的に再認識し、一致して対応していくためです。

佐藤助教（以下、佐藤）　本学のさまざまな部署が連携して学生支援にあたる中、センターは学修面での支援を担っています。障がい学生支援においては、学修面でのサポートは学びを支える要です。ガイドラインの施行を機会に、センターが主軸となり、学部（渋谷、たまプラーザの両キャンパス）、大学院（渋谷キャンパス）の各窓口を明確にすることで、学生がよりスムーズに支援にアクセスできる体制を整えました。

――支援の進め方は

東海林　学生によって障壁もニーズも異なるため、学生一人一人と面談しながら最適の支援策を考えていきます。いわば、オーダーメードの支援です。

一方、生きづらさを抱えながらもSOSを出さない、出せない学生がいます。本学では、前・後期それぞれ開始5週間で授業の出席率が50％未満の学生に対し、出席不振の意識づけとセンターの利用を促すためのメールを配信しています。これをきっかけに相談に訪れ、支援につながる学生も少なくありません。また、入学前から面談の機会を設けておくという発想そのものがない学生、意思表明が苦手な学生、大学生活の障壁をまだ把握しきれない学生がいることも考えねばならず、ここが課題となっています。

――学内に変化は

佐藤　担当の授業で支援策を提案してくださる教員が増えたと感じます。中には、どの学生にとっても役立つユニバーサルデザインの提案もあり、授業の質を向上させることにつながると期待しています。

東海林　聴覚障がいの学生には、ノートテイカーと呼ばれる学生が隣に座り、授業内容や状況をパソコンで文字化、視覚化する情報保障の支援を行っています。このノートテイカーを務める学生たちからは「私たちがテイクしやすい先生の授業は、誰にとっても分かりやすい」という話がよく出ます。教員が障がい学生の学修上の障壁を取り除く努力をすることは、ファカルティ・ディベロップメント（大学教員の能力開発）にも効果を発揮するのではないでしょうか。

――支援の将来像は

東海林　支援が必要だと思われるもの、支援につながりにくい学生もいます。「センターに相談すれば、授業に参加しやすくなる」と実感してもらえるよう情報発信に努めるとともに、学内の理解を広めていきたいです。

佐藤　高等教育機関の学生支援には「社会への接続」という役割があり、自立支援とも連動します。本学は「主体性を持ち、自立した『大人』の育成」を教育目標に掲げています。障がいの有無にかかわらず、全ての学生が、相互に理解と尊重を深めつつ、悩みながらも自分らしい生き方を見つけていけるよう全学で支援していきたいと考えています。

東海林センター長

【障がい学生支援に関する相談窓口】

渋谷キャンパス
▽学部＝教育開発推進機構事務課（☎03・5466・6744）
▽大学院＝大学院事務課（☎03・5466・0142）

たまプラーザキャンパス
▽たまプラーザ事務課（☎045・904・7700）

障がいの有無にかかわらず 等しく必要な支援を

学修支援センター　鈴木崇義准教授

学修支援センターのスタッフとして、日々、さまざまな学生の学修相談に応じていますが、障がいの有無によって、私たちのサポート内容が大きく変わるわけではありません。

発達障がいの学生で計画を立てて勉強を進めることが苦手な場合、リポートの提出期限や試験の準備などの予定作りを手助けすることがあります。具体的には、勉強のスケジュールを図式化したメモを本人と一緒に作成し、定期的な面談で進行を確認します。こうした支援は、大学の勉強に慣れていない学生にとっては等しく必要なことだと思います。

教員に対して学生の支援に関する協力を個別に依頼することもあります。例えば、聴覚や視覚から入る情報をその場で処理することが苦手な学生の場合、録音や板書撮影の許可を相談するようなケースが挙げられます。

この他、聴覚障がいの学生に対するノートテイク支援では、支援者の学生が2人1組となり、その場でパソコンを使って音声情報を要約筆記して伝えます。ノートテイカーが組織化されてから、今年度で8年目となりますが、代々の先輩たちから継承した知識や技術、支援に対する考え方を基に学生が主体となって活動しています。今後は、聴覚だけでなく、より広く障がい学生の支援に活用することも視野に入れ、この支援の輪を広げ、後輩学生に受け継ぐ仕組みを充実させたいと考えています。（談）

国学院大学のノートテイク支援

ノートテイク支援を受ける学生、支援する学生

「テイカーに感謝」　清水光さん（日文4）

入学直後、同じ新入生が集うガイダンスで、自分の聴覚障がいについて説明する機会を設けていただきました。自分のことを事前に知ってもらうことで、学生生活がスムーズに送れたという先輩の事例を聞いたからです。ろう学校時代は手話で授業を受けていました。大学の授業は専門用語が多いので、その場で視覚化してくれるノートテイクは助かります。私にとってはノートテイクの内容が情報の全てです。（ノート）テイカーの皆さんには感謝しています。

「言い回しを短く」　角川はるかさん（法4）

清水さんと同じ手話サークルに所属しています。テイカーをしている先輩から活動の話を聞き、力になりたいと考えテイカーに応募しました。授業では要点を伝えるため、言い回しを短くします。聞き落とさないよう特に気をつけているのは、リポートの提出期限や教材のページに関する数字と専門用語。技術を磨くため、自宅での練習も欠かせません。

「雑談も伝える」　池田智子さん（日文4）

同じクラスで同じ手話サークルの清水さんを友人として助けたいと思いテイカーになりました。授業では雑談の内容も伝えるように心がけています。他の学生と同じように授業の雰囲気を感じてほしいからです。文字変換で正しい漢字が出ないときなどもありますが、もう1人が補ってくれるので、ペアで行えることが頼りになっています。

レポート、試験準備に図書館を日曜開館します

内レポート作成期、前期試験期に伴い、7月の下記日曜日、渋谷・たまプラーザ両図書館を開館します。ぜひご利用ください。

日・時
▶渋谷：7・14・21・28日の10時～18時
▶たまプラーザ：7・14日の9時～16時30分（21・28日は休館）

対在学生

問図書館事務課
（☎03・5466・0159）

※15日㈪㊗は授業実施日のため両図書館とも平常通りに開館します

イベント30

令和元年度 公開古典講座

内昭和初期に開講した「萬葉講座」の流れを受け継ぐ伝統ある講座を、今年度も開催します。本学が最も得意とする古典文学作品の中から「万葉集」と「源氏物語」にテーマを絞った短期集中型（夏期の5日間）の講座です。

日・時7月17日㈬～21日㈰、下表参照

場渋谷キャンパス常磐松ホール

料各講座1日2000円、4日以上8000円

申7月5日㈮必着。本学HP（https://www.kokugakuin.ac.jp/general/eventlist/p2）から公開講座リーフレットを請求し、受講申込書に必要事項を記入して、FAX（03・5466・0528）または郵送（〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 国学院大学エクステンションセンター）で。各講座とも先着300人。

問エクステンションセンター
（☎03・5466・0270）

令和元年度 伝統文化に学ぶ講座

内昭和25年に文部省（当時）の後援で始まった講座で、毎年夏のシーズンに伝統文化（古典文学・民俗学）をテーマとした横断型の1日集中講座です。今年度の講義内容（講師）は次の通りです。

▶1講目
民俗文化と「怪」－夏はなぜ怪談か－（文学部准教授・飯倉義之）
時10時30分～12時

▶2講目
日本美術と「怪」－美しき幽霊の誕生－（文学部教授・藤澤紫）
時12時50分～14時20分

▶3講目
古典文学と「怪」－異形の神とあやしき力－（研究開発推進機構准教授・渡邉卓）
時14時35分～16時5分

日7月28日㈰

場渋谷キャンパス常磐松ホール

料3000円

申7月5日㈮までに、受講申込書に必要事項を記入しFAX（03・5466・0528）または郵送（〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 国学院大学エクステンションセンター）で。定員300人（先着順）。

問エクステンションセンター
（☎03・5466・0270）

たまプラーザキャンパス公開講座（教養講座）

内たまプラーザキャンパスを会場に毎年開催している講座で、文学、史学、宗教、教育、法律、経済など専門の分野からその時々のタイムリーなテーマを題材に企画しています。今年度の講義内容（講師）は次の通りです。

▶1日目：9月10日㈫
①人生100年時代を健康に過ごすために－運動は100薬の長－（人間開発学部教授・林貢一郎）
②東日本大震災とその後（神道文化学部教授・茂木栄）

▶2日目：9月11日㈬
①「令和」の由来とその周辺（文学部教授・土佐秀里）
②曲がり角のEU統合－日本への示唆（法学部専任講師・佐藤俊輔）

▶3日目：9月12日㈭
①平成の日本経済を振り返る（経済学部教授・尾近裕幸）
②芭蕉句の評価と解釈－俳諧から俳句へ－（文学部教授・岡田哲）

時①9時20分～10時50分
②11時～12時30分

場たまプラーザキャンパス1号館411教室

料1日500円

申9月2日㈪までに、受講申込書に必要事項を記入しFAX（03・5466・0528）または郵送（〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 国学院大学エクステンションセンター）で。

問エクステンションセンター
（☎03・5466・0270）

本学が参加予定の進学相談会（7月分）

内各地で開催される進学相談会に参加を予定しています。本学への進学をお考えの受験生、保護者の方はぜひご来場ください。

日・時・場下表参照

問入学課（☎03・5466・0141）

進学相談会一覧（7月開催分）

都道府県	都市	会場	日付	時間
東京	池袋	池袋サンシャインシティ	7月7日㈰	11:00～17:00
東京	新宿	新宿NSビル	7月8日㈪	14:00～17:00
新潟	新潟	新潟市産業振興センター	7月10日㈬	10:00～18:00
東京	池袋	池袋サンシャインシティ	7月15日㈪㊗	11:00～16:30
神奈川	横浜	パシフィコ横浜	7月16日㈫	10:00～16:00
沖縄	宜野湾	ラグナガーデンホテル	7月16日㈫	16:00～20:00
沖縄	宜野湾	ラグナガーデンホテル	7月17日㈬	16:00～20:00
神奈川	横浜	パシフィコ横浜	7月28日㈰	11:00～16:00

キャリアサポート

夏季インターンシップ事前研修（マナー講座）

内インターンシップや本選考の場では、マナーは非常に重要視されています。身だしなみや電話対応、メールの書き方、SNSでのマナーなど知っているつもりで知らないことはたくさんあります。今一度本講座で確認してインターンシップに臨みましょう。※単位申請者は参加必須

日・時7月3日㈬3限か5限（いずれかの時間帯に出席を）

対1～3年生

進路電話調査

内進路状況に関する電話調査を実施します。希望進路（一般企業・公務員・教職・神社関係・進学）にかかわらず、「決定・内定状況」の確認ではなく、進路・就職に関する「現状」を把握することを目的としています。現状を把握することで、支援内容・企画の充実につなげていきますので、ご協力をお願いします。

日7月9日㈫～19日㈮

対4年生

※いずれも渋谷キャンパスで開催。詳細確認・申し込みはK-SMAPYⅡの「就職・各種面談」→「セミナー申込」から

令和元年度　公開古典講座

	開講日	時間	内容	講師
万葉集「巻十三」を読む	17日㈬	A	「令和」と万葉集－東アジアの文学－	奈良大学教授・上野誠
		B	言挙げせぬ国のうた	
	18日㈭	A	山中の夫の消息－里人の我に告ぐらく－	文学部教授・谷口雅博
		B	旅の幻想－祭る女－	文学部兼任講師・多田元
	19日㈮	A	長歌体の問答歌とは何か（1）（2）	文学部教授・大石泰夫
		B		
	20日㈯	A	泊瀬小国に よばひせす 吾が天皇	早稲田大学教授・高松寿夫
		B	巻十三と記紀の世界	大妻女子大学准教授・倉住薫
	21日㈰	A	神と恋－巻十三相聞－	文学部教授・土佐秀里
		B	旅と死－巻十三挽歌－	
源氏物語「夕霧」巻（後半）を読む	17日㈬	C	講読1　夕霧、落葉の宮に頻繁に手紙を送る	文学部教授（特別専任）・山田利博
		D		
	18日㈭	C	講読2　夕霧、一条の御息所の四十九日の法要を主催する	フェリス女学院大学教授・竹内正彦
		D		
	19日㈮	C	未申の方と一条宮邸の遣水	文学部兼任講師・飯沼清子
		D	夕霧と落葉の宮の結婚	文学部兼任講師・塚原明弘
	20日㈯	C	講読3　夕霧、塗籠にこもる落葉の宮に迫る	国学院大学栃木短期大学准教授・津島昭宏
		D		
	21日㈰	C	講読4　雲居雁、夕霧の態度に怒り、父の邸に帰る	文学部教授・小田勝
		D		

A：9時30分～10時50分、B：11時5分～12時25分、C：13時10分～14時30分、D：14時45分～16時5分

「三島由紀夫」が書かなかった「争議」

若木が丘だより

経済学部教授
本田 一成

昨秋たまプラーザキャンパス公開講座で「三島由紀夫が書くのを拒んだ『近江絹糸人権争議』」をテーマに講演した時のことです。満員御礼の会場で「この争議をご存じですか？」とたずねたところ、70代以上の方は全員が、60代も大半が知っていました。50代以下になると、ほとんど知らないようです。

近江絹糸人権争議は、1954年に勃発した106日間におよぶ日本最大級、大阪、彦根、大垣、富士宮ほか同時多発的な労働争議で、国民の目を釘付けにしました。三島由紀夫が題材にして名著『絹と明察』を出版したことでも有名です（ただし、三島は争議自体をほとんど書いていません）。私は数年前、三島に取材された近江絹糸OBに彦根で会い、突然に本の出版を託されたのです。その人は朝倉克己さん。小説の登場人物のモデルとなった一人です。三島は「まるで忠臣蔵、赤穂浪士」と評したそうですが、現在ならば「10代の若者たちのブラック企業撃退ファンタジー」でしょう。

私の専門は流通産業ですが、ついに断りきれず（朝倉さんに近江牛やうなぎをご馳走になりました）、約600枚の写真から200枚超を厳選して『写真記録・三島由紀夫が書かなかった近江絹糸人権争議』（新評論）を制作しました（600枚の写真を並べると壮観ですよ）。

「働き方改革」「女性活躍」の時代にこそ、当時の日本の労働現場から多くを学ぶべきでは？　との想いがあります。（専門外の本なのに…最も反響が大きいのが少し引っかかります）。ご関心のある皆さんのために、定価を抑え、割引を手配しました（国学院特別割引注文書はoffice.hondabooks@gmail.comまで）。

思いのほか最後は専門分野につながりました。全国各地で栄えた繊維工場の跡地がショッピングセンターに様変わりしたことに改めて気づかされた次第です。

本紙へのご感想をお待ちしています

「国学院大学学報」では、読者の皆さまからのご意見・ご感想を募集しています。掲載された方には、本学オリジナルグッズを進呈いたします。

ご投稿は以下の要領でお願いします。

①今号の満足度5段階（低1～5高）②本紙へのご意見③住所④氏名⑤所属など（在学生の場合〈学科・学年〉、保護者、院友〈本学卒業生〉、本学・本法人教職員、その他いずれか）を明記の上、ハガキ・FAXで国学院大学広報課（連絡先は1面参照）までお送りください。また、QRコードよりEメール作成画面を開くことができます。なお、お送りいただいた方の個人情報は法令に基づいて取り扱いいたします。

※お寄せになられた原稿・お便りは返却いたしません

インフォダイジェスト

…在学生 …保護者 …卒業生 …一般 …受験生
内内容 日日にち 時時間 場場所 対対象 申申し込み 料料金 問問い合わせ

大学からのお知らせ

高校生向けコンテスト作品募集

内国学院大学と高校生新聞社では、第23回全国高校生創作コンテストならびに第15回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト（いずれも国学院大学若木育成会、国学院大学院友会、国学院大学北海道短期大学部協賛）の作品を次の要領で募集します。

①全国高校生創作コンテスト

【部門】
▶短篇小説の部（１人３篇以内＝１篇4000字以内）
▶現代詩の部（１人３篇以内＝１篇45行以内）
▶短歌の部（１人３首以内）
▶俳句の部（１人３句以内）
※各部門とも専用の応募用紙、またはＡ４サイズの用紙で提出。封筒には必ず「○○部門作品在中」と記入してください

【表彰】最優秀賞（各部門１人、賞状・副賞５万円・記念品）、優秀賞（各部門２人、賞状・副賞３万円・記念品）、佳作（各部門５人、賞状・記念品）、文部科学大臣賞（１校、賞状・副賞５万円相当の図書カード・記念品）

②「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト

【部門】
▶地域文化研究部門（祭り・伝統行事・郷土料理・方言などの調査研究＝個人・団体）
▶地域民話研究部門（昔話・伝説など民話の調査研究＝個人・団体）
▶学校活動部門（学校や部、クラスなどの活動として地域研究活動の実践報告）
※レポート枚数自由（ただしＡ４サイズの用紙を使用）、映像の場合は15分以内で提出。地域文化・地域民話の両部門は封筒に「○○部門個人または団体応募作品在中」と記入してください

【表彰】地域文化研究部門・地域民話研究部門：最優秀賞（個人・団体各１作品、賞状・副賞５万円・記念品）、優秀賞（個人・団体各２作品、賞状・副賞３万円・記念品）、佳作（個人・団体各２作品、賞状・記念品）▽学校活動部門：優秀賞２校（賞状・副賞３万円相当の図書カード・記念品）▽折口信夫賞：１作品（賞状・研究費５万円・記念品）

③応募について

【応募期間】
７月１日㈪～９月10日㈫必着

【応募条件・概要】
▶高校生であること
▶自作未発表のもの

【応募方法】
《個人》郵便番号・住所・氏名（ペンネーム不可）・学年・性別・電話番号・高校名・担当教諭名を記入。
《学校》高校名・郵便番号・所在地・担当教諭名・電話番号・応募者氏名（ペンネーム不可）・学年・性別などを作品ごとに記入。

【応募先】〒194-0022東京都町田市森野1-34-10高校生新聞社コンテスト事務局「第23回全国高校生創作コンテスト係」または「第15回『地域の伝承文化に学ぶ』コンテスト係」へ郵送か、✉(contest2018@sclpa.jp)で

【発表】11月中旬に入賞者に通知、主催者ＨＰでも公表します。

問高校生新聞社コンテスト事務局
（☎042・724・2750
FAX042・724・2860）

※お知らせいただいた個人情報は、主催者において本コンテストの審査、本人および学校への連絡や資料の発送に利用いたします。なお、個人情報を第三者に提供することはありません。応募作品は、当主催者に版権を帰属し、返却いたしません

令和２年度 推薦入試・特別選考入試

内国学院大学では、**下表**の日程で令和２年度の推薦入試・特別選考入試を実施します。

問入学課（☎03・5466・0141）

令和２年度 大学院秋季入試

内国学院大学大学院では、**上表**の日程で令和２年度の秋季入試を実施します。６月29日㈯には渋谷キャンパスで進学相談会を開催します。詳しくはお問い合わせください。

問大学院事務課
（☎03・5466・0142）

大学院 令和２年度秋季入試日程

研究科		区 分	専 攻	募集人員	出願受付期間	試験日・合否発送日	入学手続期間
文学	前期	一 般	神道学・宗教学	10名	9月５日㈭～20日㈮	【試験日】10月５日㈯ 【合格発表】10月９日㈬	【一次手続】10月15日㈫～21日㈪ 【二次手続】令和２年２月25日㈫～３月３日㈫
			文 学	15名			
			史 学	20名			
		外国人	神道学・宗教学	若干名			
			文 学				
			史 学				
		学内成績選考	神道学・宗教学				
			文 学				
			史 学				
		社会人	神道学・宗教学				
			文 学				
			史 学				
	後期	一 般	神道学・宗教学	若干名		【試験日】10月９日㈬ 【合格発表】10月12日㈯	
			文 学				
			史 学				
		外国人	神道学・宗教学				
			文 学				
			史 学				
		社会人	神道学・宗教学				
			文 学				
			史 学				
法学	前期	一 般	法律学	５名	8月30日㈮～9月12日㈭	【試験日】9月28日㈯ 【合格発表】10月１日㈫	【一次手続】10月５日㈯～11日㈮ 【二次手続】令和２年２月25日㈫～３月３日㈫
		外国人		若干名			
		学内成績選考					
		社会人					
経済学	前期	一 般	経済学	５名			
		外国人		若干名			
		社会人					
		学内推薦					

※法学研究科（前期課程）学内成績選考の秋季募集は、４年次在学者に限る

夏季休暇や秋の行楽に大学厚生寮を

内夏季休暇や秋の行楽シーズンに国学院大学厚生寮をご利用ください。長野県立科町にある蓼科寮は、セミナーハウス機能やバーベキュー棟も備えた厚生寮です。白樺湖や蓼科牧場など豊かな自然に囲まれ周辺には美術館や温泉施設もあります。

料学生・教職員は１泊２食2500円（利用限度３泊４日）。

対学生・院友・教職員

申▶学生＝学生生活課
（☎03・5466・0145）
▶院友・教職員＝人事課
（☎03・5466・0105）

※空室状況は本学ＨＰ（https://www.kokugakuin.ac.jp/student/lifesupport/p9）で確認できます

夏期休暇の海外旅行へ出かける前に

内近年、世界各地で無差別テロや日本人をターゲットとした誘拐などが多発しています。また、地域によっては感染症の恐れもあります。
夏期休暇を利用して海外旅行する際は、外務省の海外安全情報のチェック、日本大使館など現地の緊急連絡先の確認、家族・知人への旅行日程・連絡先の伝達と密な連絡、海外旅行保険への加入を忘れず、トラブル回避と安全確保を心掛けてください。いざという時に在外公館から緊急情報提供を受けられる「たびレジ」（https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/）への登録もお願いします。

博物館

料無料
時10時～18時（入館は17時30分まで）、６月24日㈪～28日㈮、７月22日㈪、８月13日㈫～22日㈭は休館

企画展「浮世絵ガールズ・コレクション－江戸の美少女・明治のおきゃんー」

内国学院大学博物館が新収蔵した浮世絵コレクションを初公開します。第１回として、「江戸」と「明治」という２つの時代の美人表現をテーマに優品を紹介。幕末浮世絵界の人気絵師・歌川国芳（1797～1861）、明治の美人画界を代表する月岡芳年（1839～1892）らの著名なシリーズを通じて、変容する美人画の系譜を示すとともに、美女とともに画中に描かれる風景や工芸品などにも注目。江戸から明治にかけての風俗や文化もお楽しみください。

日６月29日㈯～８月25日㈰
場博物館企画展示室

ミュージアムトーク「浮世絵〝ＢＩＪＩＮ〟くらべ」

内講師は文学部の藤澤紫教授。申し込み不要、無料。
日７月20日㈯
時13時～14時
場博物館ホール

講演会「女性美の粋―江戸・明治の美人に学ぶ」

内講師は院友で作家の岩下尚史客員教授と文学部の藤澤紫教授。無料。
日７月27日㈯
時12時30分～14時
場渋谷キャンパス常磐松ホール
申先着300人。往復はがき（郵便番号、住所、氏名〈フリガナ〉、電話番号を明記し「浮世絵ガールズ・コレクション」講演会受講希望と記入）で〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28国学院大学博物館　企画展「浮世絵ガールズ・コレクション」講演会係へ郵送か、博物館ＨＰ（http://museum.kokugakuin.ac.jp/event/detail/2019_ukiyoe_lecture.html）の申し込みフォームから。

ワークショップ「浮世絵ぬりえ＆デザイン!?」

内あなたのデザインした着物やドレスを浮世絵美人に着せてみよう！（完成品はお持ち帰りいただけます）
日８月５日㈪
時11時～12時
場博物館
対小学生以上（小学校低学年は保護者同伴）
料材料費300円（当日支払い）
申定員20人。７月15日㈪･㊗までに博物館ＨＰ（http://museum.kokugakuin.ac.jp/event/detail/2019_ukiyoe_workshop.html）の申し込みフォームから。（応募多数の場合は抽選、抽選結果は締め切り後５日以内に連絡）

※博物館関連イベントの問い合わせは
☎03・5466・0359

令和２年度　推薦入試・特別選考入試日程

入試制度	学 部		募集人員	出願期間（最終日消印有効）	試験日	合格発表日	入学手続期間（最終日消印有効）
神道・宗教特別選考［Ⅰ期］	神道文化	フレックスＡ（夜間主）	13人	9月18日㈬～25日㈬	10月20日㈰	【一次】10月９日㈬ 【二次】11月１日㈮	11月２日㈯～12日㈫
		フレックスＢ（昼間主）	34人				
神職養成機関（普通課程）特別選考		フレックスＡ（夜間主）	2人			11月１日㈮	
院友子弟等特別選考	全学部		40人	【一次出願】９月２日㈪～９日㈪	―――	【一次】９月25日㈬	11月21日㈭～28日㈭
				【二次出願】10月７日㈪～11日㈮	11月10日㈰	【二次】11月20日㈬	
公募制自己推薦（ＡＯ型）	文・神道文化・法・人間開発		140人	9月25日㈬～10月２日㈬	11月10日㈰	【一次】10月18日㈮ 【二次】11月20日㈬	11月21日㈭～28日㈭
	経済		40人	9月18日㈬～25日㈬	――― 10月20日㈰	【一次】10月９日㈬ 【二次】11月１日㈮	11月２日㈯～12日㈫

硬式野球部

東都大学野球3位で終戦 優勝の夢は秋に

東都大学野球春季１部リーグは全日程（４月８日～５月24日）を終了し、本学硬式野球部は７勝５敗１分け、勝ち点３、勝率.583で3位に終わった。

今季、第２週の東洋大学戦で勝ち点を落としたものの、亜細亜大学、駒沢大学から勝ち点を挙げ、東洋大学に次ぐ２位で最終週を迎えた。本学が勝ち点を挙げ、東洋大学の結果次第では優勝の可能性があったが、５月22日に行われた中央大学との１回戦では、２回に６番・内藤諒一選手（日文３）のソロ本塁打で先制したが、投手陣がリードを守れず２－３で惜敗した。翌日の２回戦も、投手陣が打ち込まれ、失策も絡んで10失点を喫し連敗（6 -10）。17季ぶりの優勝には届かず終戦となった。

リーグ戦は、首位に立っていた東洋大学が、勝ち点５を挙げ完全優勝で２季ぶり20度目の優勝を果たした。

個人表彰では、ベストナインに三塁手の伊藤雅人選手（経ネ４）が選ばれた。伊藤選手の選出は昨年春に続き２回目。

令和元年度東都大学野球春季１部リーグ結果

順位	大学名	勝ち数	負け数	分け数	勝率	勝ち点
1	東洋大	10	3	1	0.769	5
2	中央大	8	5	1	0.615	4
3	国学院大	7	5	1	0.583	3
4	亜細亜大	5	7	1	0.417	2
5	立正大	4	8	0	0.333	1
6	駒沢大	4	10	0	0.286	0

先制本塁打を放つ内藤諒一選手（中央大学1回戦）

チーム最高の打率３割５分をマークした主将の貞光広登選手

佐柳理事長が始球式

本法人の佐柳正三理事長が５月22日に行われた本学硬式野球部と中央大学との１回戦で始球式に登場した＝**写真**。本学硬式野球部の帽子をかぶった佐柳理事長は、キャッチャーミットをめがけて力強い直球を投げ込み、スタンドからは温かい拍手が送られた。

団体･個人の成績

剣道部＝第65回関東学生剣道選手権大会が５月12日、日本武道館で行われた。本学剣道部では、保坂一樹選手（日文３）のベスト36進出が最高だった。山科能之介選手（神文４）が４回戦で敗れたが、全日本学生剣道選手権大会の出場決定戦に勝利し、保坂選手とともに出場権を獲得した。

第51回関東女子学生剣道選手権大会が18日に東京武道館で行われ、本学剣道部では、長谷川理恵選手（法４）、眞鍋奈々選手（経ネ４）の５回戦進出が最高だった。両選手は、全日本女子学生剣道選手権大会の出場決定戦に進み、出場権を獲得した。

強化部会主なスケジュール（6･7月）

柔道部＝令和元年度全日本学生柔道優勝大会（男子68回、女子28回）　団体戦（６／22（土）～23（日）・日本武道館)、東京都ジュニア柔道体重別選手権大会（男子52回、女子23回）　個人戦（７／７（日）・東京武道館）

剣道部＝第53回全日本女子学生剣道選手権大会（６／29（土）・エディオンアリーナ大阪)、第67回全日本学生剣道選手権大会（６／30（日）・同）

卓球部＝第89回全日本大学総合卓球選手権大会　団体の部（７／４（木）～７（日）・スカイホール豊田）

ソフトテニス部＝第69回東日本大学対抗ソフトテニス競技大会（６／29（土）～30（日）・千葉県白子町中里サニーテニスコートほか)、第62回東日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会（７／１（月）・同)、第74回東日本学生ソフトテニス選手権大会（７／２（火）～３（水）・同)、第74回東日本ソフトテニス選手権大会（７／20（土）～21（日）・静岡県草薙総合運動場庭球場ほか）

柔道部

東京学生柔道優勝大会 代表戦の末ベスト16

東京学生柔道優勝大会（東京学生柔道連盟主催）が５月26日、東京都千代田区の日本武道館で開催され、本学柔道部は５年連続のベスト16で大会を終えた。会場では健闘した選手たちに、チームメートや保護者らから大きな拍手が送られていた。

大会は７人による団体戦。同部は２回戦から出場し、初戦の立正大学戦は不戦勝となった中堅を除き全員が一本勝ちを収め、７勝０敗で圧倒した。

ベスト８入りをかけた３回戦は強豪・明治大学と対戦。副将戦で山本瑛介選手（健体２）＝**写真**＝が一本勝ちを収めたものの１勝１敗で代表戦に。

山本選手が明治大学主将の神鳥剛選手に挑んだが優勢負けを喫し敗退した。

同部は、６月22、23の両日に日本武道館で行われる全日本学生柔道優勝大会への出場権を獲得した。

K SPIRITS

国学院大学ソフトテニス部・男子

チーム力の勝利、次は「インカレ」へ

５月に行われたリーグ戦で、大正11(1922)年創部という長い歴史で初めてとなる「関東学生王座」を射止めた国学院大学ソフトテニス部の男子。濵野達哉主将(健体４＝**写真左**)は「優勝が決まっても実感が湧きませんでした。でも、コートに立った部員だけでなく、いつにも増して応援してくれた部員も含め全員での勝利と確信しています」と激闘を振り返る。

本学が所属する関東学生連盟は63校からなり、上位６チームによる１部リーグで春秋のリーグ戦を戦っている。「これまでは入れ替え戦を気にする成績」（濵野主将）が多く最高でもリーグ３位どまりだった。だが、昨秋のリーグ戦でインカレ王者の明治大学を下したあたりから勢いに乗り始め、関西の強豪・関西大の胸を借りたＧＷ遠征で手応えを感じた濵野主将は「全国９ブロックの春季リーグ王者などが顔をそろえる『学生王座決定戦』に出よう」と部員を叱咤激励した。

「あとで聞いたら部員のみんなは『主将は何を言ってるんだ？』と思っていたそうです」と苦笑い交じりに振り返るが、部を指導する小杉誠監督には「つまらないミスさえしなければ」という目算もあった。終わってみれば４勝１敗で本学、早稲田大、明治大の３チームが並び、わずか１ゲーム（４ポイント）差で本学が悲願の関東王座を勝ち取ることとなった。

接戦となった春季リーグで光ったのは、ダブルス中心の大会で唯一シングルスを戦い、７ゲームマッチ(４ゲーム先取したほうが勝ち)の５試合で落としたのはわずか５ゲームという好成績で全勝賞を獲得した谷岡凌太朗選手(健体３＝**写真右**)の活躍。高校時代に東京都大会を制し、インカレ８強も経験したシングルスのスペシャリストは、「関西へ遠征したことでエンジンがかかった感じ。西の強豪と対戦したことで、今までにない良い雰囲気でリーグ戦に臨むことができた」と話す。リーグ戦終了後に長崎県で開催された「全日本シングルス選手権」にも出場し、社会人や国内唯一のプロ選手との対戦を通じてさらに成長できたと自負している。

関東王者として臨んだ学生王座決定戦（６月７～９日、札幌市）では予選リーグ１勝１敗で惜しくも決勝トーナメント進出はならなかったが、春のシーズンを終えたソフトテニス部の次なる目標は夏のインカレ（８月５～10日、岩手県)。濵野主将は「これまでのように弱気になってはダメ。先手先手で攻め続けた春の経験を生かしたい」と誓った。

インタビューの詳細は、本学ホームページ内「国学院大学メディア」に掲載。

卓球部

関東学生春季リーグ 男女とも２部残留

関東学生卓球１、２部の春季リーグ戦が５月10～12日、所沢市民体育館で行われた。昨秋２部に降格した本学卓球部女子は、３度目の１部昇格をかけての戦い、昨季２部５位の男子は平成28年春以来１部昇格を目指した。

４勝を挙げたチームが勝ちとなる団体戦で、女子は第１試合の東京女子体育大学戦で初戦の小島叶愛選手（初教２）＝**写真上**＝がストレート勝ちしてチームを勢いづけると、塚本佳苗選手（日文３）ら後続も連勝を重ね４－０で好スタートを切った。続く東京経済大学戦も４－０と圧倒したものの、東洋大学、筑波大学戦に連敗して３勝２敗の３位で２部残留となった。

強豪校を相手に粘りの試合が続く男子は、開会式直後の大正大学戦で、２番手の松井充輝選手（法３）＝**写真下**＝が５ゲームまでもつれた試合を制してリーグ戦での自身初勝利を飾ると、主将の関有貴選手（法４）らが続き開幕戦を白星で飾った。しかし、続く試合を立て続けに落とし、最終戦の東京経済大学に４－０で勝利したが２勝３敗・５位で辛くも２部残留を決めた。

蹴球部

リーグ戦無敗で首位に

決勝ゴールを喜ぶ本学選手たち

東京都大学サッカーリーグ戦１部は６月２日時点、６節までのうち延期となった３節を除く５試合が終了。本学蹴球部がここまで無敗で首位に立っている。

５月26日に本学たまプラーザグラウンドで行われた第５節の学習院大学戦では、前半10分にＦＷの東奥祐介選手（経２）がドリブルで敵陣に切り込みゴールキーパーまでかわして先制ゴールを叩き込んだ。直後に失点し同点に追いつかれたものの、23分、ＦＷの山本アマディン選手（健体４）とのパス交換からＭＦの金子大晟選手（法２）が、自身公式戦初得点となる勝ち越しのゴールを決め、２-１として折り返した。後半は一進一退の攻防を繰り返したがリードを守り勝利。この結果、リーグ戦首位に躍り出た。

６月２日に行われた第６節の大東文化大学戦では、逆転で２-１と勝利した同部。４勝１分けで勝ち点を13に伸ばし首位をキープした。

リーグ戦は全10校がホームアンドアウェーの総当たりで行われる。

K:DNA

2019 6

K:DNA——創立137年目を迎えた国学院大学の遺伝子…個人・個性を尊重する校風　若いエネルギーが未来を変える

こぶしを上げてゴールを駆け抜けた土方英和選手

陸上競技部

土方選手 ハーフマラソン優勝

第98回関東学生陸上競技対校選手権大会（関東インカレ）が５月23～26日、相模原ギオンスタジアムで行われた。２部に所属する本学陸上競技部は、男子ハーフマラソンで、主将の土方英和選手（健体４）が１時間05分18秒で優勝するなど好成績が続いた。

大会最終日に行われたハーフマラソンには、土方選手ら３人が出場。気温30度に迫る暑さの中、先頭集団でレースを引っ張った土方選手は、終盤に自らスパートをかけて後続を引き離し先頭に躍り出た。一時は駒沢大学の山下一貴選手に逆転を許したが、残り200mで再逆転。ガッツポーズでゴールテープを切った。関東インカレのハーフマラソン優勝は、創部以来初。

男子800m決勝では佐々木亮介選手（神文３）が１分50秒91で２年連続の２位。今年の箱根駅伝で5区区間新の浦野雄平選手（経営４）は、同5000mで６位、１万mで４位に入り、いずれも日本人トップだった。

土方選手「前期最大の目標が関東インカレのハーフマラソンを優勝することだったので嬉しい。同級生の浦野の日本人トップになる活躍や自分自身が結果を出して引っ張っていくという気持ちが強くあった。今年の３大駅伝すべてで過去最高順位を更新できるよう、チームをまとめ、引っ張っていきたい」

浦野選手「２種目で日本人トップはうれしいが、上には留学生がいる。力の差を感じたところもあるので満足はしていない。5000m、１万mともに１人になってからの走りが評価できるポイントだった。淡々と自分のペースで走れたことは必ず駅伝で生きてくると感じている。３大駅伝出場はとても楽しみ。区間賞の走りでチームの順位を押し上げたい」

２種目で日本人トップの浦野雄平選手

柔道部

相田選手 ジュニア国際大会優勝

柔道のオーストリアジュニア国際大会が６月１～２日、オーストリア・ライプニッツで行われ、男子66㌔級の日本代表として出場した相田勇司選手（法２）が、１回戦から決勝まで６試合全てで一本勝ちを収め、国際大会で自身初の優勝を手にした。

相田選手は、昨年10月に行われた世界ジュニアで同階級３位に入るなど実績を重ねてきた。今大会は、１回戦を小内刈りで一本勝ちを収めると、２回戦から準決勝も順調に勝ち進んだ。カザフスタンのアマンゲルディ選手との決勝でも、小内刈りを決め優勝を決めた。

坂本大記監督は「（相田選手には）しっかり勝ちきることだけを伝えてきた。日々成長を続けているので今後が楽しみ」と話した。**［Ⅲ面に関連記事］**

（全日本柔道連盟提供）

表彰式での相田勇司選手（左から２人目）

未来につなぐ 学術資産研究ノート

人間が囃し踊れば、疫神がついてくる？！

横山華山筆「やすらい祭・賀茂競馬図屏風」右隻

横山華山（1781/４～1837）は京都で活躍した絵師であり、「牛祭図」（ハーバード大学附属美術館）「祇園祭礼図巻」など、京の祭りを描いている。今回紹介する、横山華山筆「やすらい祭・賀茂競馬図屏風」（国学院大学博物館蔵）の右隻には、鉾や御幣を持つ人々、羯鼓（かっこ）を掛けた稚児、花で飾った風流傘、赤く長い髪（赤熊（しゃぐま））をかぶり、鉦や太鼓で囃（はや）しながら、傘の周囲で踊る人々ほかが描かれる。これは、現在、４月第２日曜日に京都の今宮神社や玄武神社などで行われている「やすらい祭」（やすらい花とも）の様子である。

「やすらい祭」は、疫病を流行させる神（疫神）を鎮め送るために行われるもので、屏風に描かれた姿の人々が地域をめぐり、神社や所々で鉦・太鼓・歌などで囃しながら踊る。人間が楽しそうに囃し、踊っていれば、疫神も浮かれてついてくると考えたのであろう。狂言の「呼声（よびごえ）」「柿山伏（かきやまぶし）」にも、太郎冠者や山伏を歌や踊りで囃して浮かれさせ、呼びだしたり、柿の木から飛ばせたりする場面がある。「やすらい祭」もこれと共通する発想で、疫神を動かそうとするのであろう。

本資料は「横山華山」展（京都文化博物館）（会期：７/２～８/17）の後期に展示される。

研究開発推進機構 准教授　大東敬明

（部分、国学院大学博物館蔵）

本屏風の全体および左隻は、
国学院大学図書館デジタルライブラリーで公開中